

記者発表資料

新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
長岡市記者クラブ
上越市記者クラブ
本誌投込みをもって解禁

平成25年11月27日

新潟国道事務所
羽越河川国道事務所
長岡国道事務所
高田河川国道事務所

事故ゼロプラン

〈事故危険区間重点解消作戦〉

新潟県版



知っていますか？『事故危険区間』

～あなたの身近な危険区間を知って、アンケートにご協力下さい。～

- 道路利用者の皆様に、直轄国道（国が管理する国道）の中で交通事故の危険を感じる場所などについてアンケートを実施します。
- 平成24年度までに選定された「事故危険区間」を**見て**、**チェック**して、他にも「危ない」と思う場所を**教えて**下さい。
- 皆様から頂いたアンケートをもとに道路管理者で確認を行い、「事故危険区間」への追加や対策ニーズの検討に反映します。

アンケートの回答方法

- ① ホームページの場合：新潟国道事務所ホームページより、下記のパナーをクリックし、アンケートにお進み下さい。
- ② ハガキアンケートの場合：アンケート調査票のハガキ回答欄にご記入の上、切り離してご投函ください。（切手不要）切り離れたハガキアンケートは、ヒヤリハットマップとして活用できます。



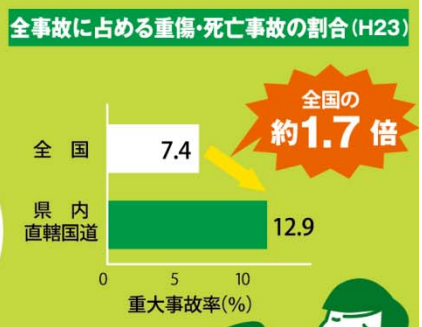
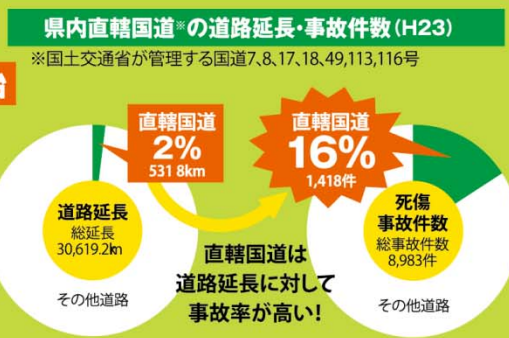
お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所
交通対策課長 大瀬 宝（内線471）
電話 025-244-2159（代表） FAX 025-246-7744

事故を防ぐために

平成22年度より **事故ゼロプラン** による交通事故対策を進めています!

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)とは、安全安心な道路環境を実現するため、「選択と集中」、「住民参加・協働」により、重点的・集中的に継続的な交通事故の対策を進める取り組みです。



しかし
事故ゼロプランを開始した後の平成24年にも、8千件以上の交通事故が発生し、100人以上の方が亡くなっています。

まだまだ重大な事故が多いなあ。
もっと万全な交通事故対策が必要だね。

例えば、こんな交通事故対策をしています

国道7号 紫竹山IC周辺の場合

- 多車線のため、車線変更が多く追突事故が発生しやすい。
- どの車線を走ればいいのかわかりづらい。

車線変更が原因の事故が多かったのね。

交差点手前の急な車線変更が多い。

前方車両の速度低下に気付かず追突

事故を減らすため、こんな対策をしました!

カラー連携標示

案内標識とカラー舗装の色を同色系で案内。迷い運転を防ぎ、車線変更を円滑にします。

赤色 緑色

紫竹山交差点の事故発生件数

時期	追突事故 (件/年)
対策前	9.5
対策後	5.7

追突事故 3.8件/年削減

対策後は事故が減ってるね。

【集計期間】 対策前 H16.1~19.12 対策後 H23.2~24.12

交通事故の対策は、多種多様な方法の中から、事故の発生状況や道路の構造等を勘案して、その場所で最適と考えられる対策を選定して、実施します。